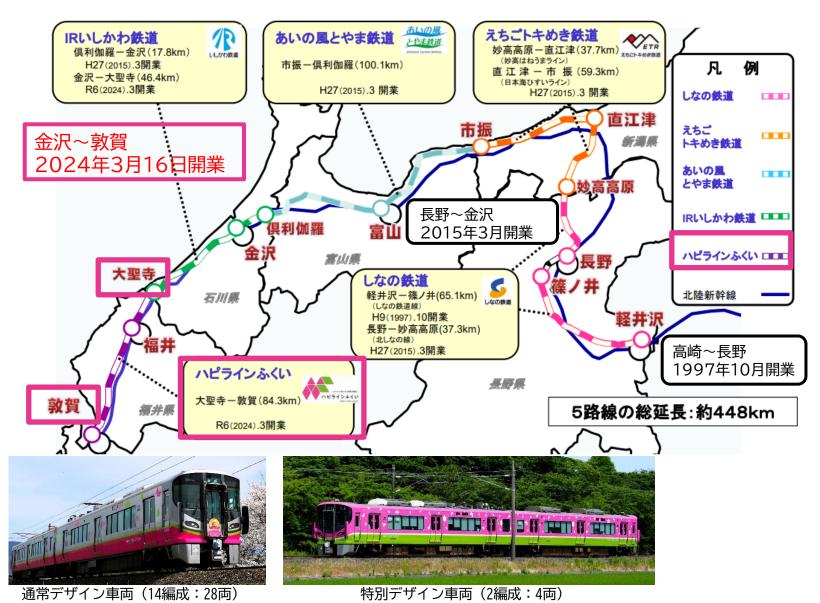
ハピラインふくい 共同化・協業化の取り組み



ハピラインふくい 共同化・協業化の取り組み



≪北陸新幹線の並行在来線≫



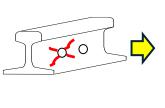
1. メンテナンス作業の連携

[連携先:㈱ JR西日本レールテック]

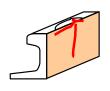


1.弊社の課題

- 開業まもないハピラインふくいでは、鉄道施設の保守に関する技術や知識について、<u>経験の浅い</u> 社員の技術力向上が課題
 - ※特に列車の安全運行を支える基盤となるレール保守のうち、<u>レール探傷は折損を防止する上で非常に重要な</u> 手段であるが、レール探傷機器等の操作と解析には高度な技術力を要するため、技術力の向上が課題







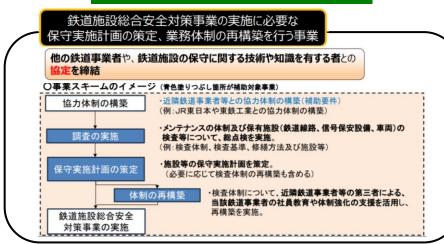




2.補助金の活用

■ 中部運輸局の助言のもと、令和7年1月に創設された、鉄道施設総合安全対策事業補助金 (地域鉄道メンテナンス体制強化事業)を活用し、 社員教育を強化

地域鉄道メンテナンス体制強化事業



3.協定締結

■ <u>㈱ハピラインふくいと㈱ JR西日本レールテック</u>は、安全・安定的な鉄道輸送を確保するため、 <u>レール探傷や管理手法等の技術指導に関する協定を締結</u> 【令和7年3月協定締結】

1. メンテナンス作業の連携

[連携先:㈱ JR西日本レールテック]



4.技術指導

【主な内容】

- レール探傷技術に関する探傷機器等の操作および実施に関すること
- 現場での探傷技術の指導、判定に関すること
- 判定結果に基づくレール交換計画等の策定、施工および管理等に関すること
- 現場管理における課題等に関すること

【主な取り組み】

- 7月17日、18日に第1回技術講習会を開催
- 10月16日、17日に第2回技術講習会を開催予定





連携の 成果

- 探傷機器の基本的な操作を習得するとともに、日常の探傷業務での疑問点、課題等について、<u>詳細な技術指導を受け、業務に対する不安を解消</u>
- 試験レールで模擬探傷を行い、傷の波形等を習得するとともに、レール探傷データ の検証を行い、<mark>効果的なレール交換計画を策定(R8.3計画見直し)</mark>

今後の 課 題 • 安全·安定的な鉄道輸送を確保するためには、社員の更なる技術向上や最新機器の 購入が不可欠であり、<u>今後も国による継続的な支援が必要</u>

2. 保守業務連携支援協定 [連携先:JR西日本、IRいしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道]



1.地方鉄道の課題

- 沿線人口の減少に伴う利用者の減少
- 施設の老朽化
- 維持管理費にかかる要員不足 等

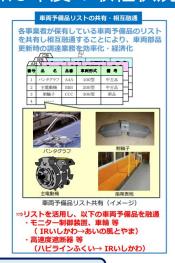


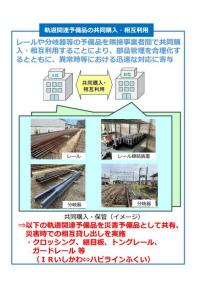


令和5年度から北陸新幹線の並行在来線事業者をモデルケースとして具体的な連携項目を検討

【検討メンバー】 しなの鉄道(株)、えちごトキめき鉄道(株)、あいの風とやま鉄道(株)、IRいしかわ鉄道(株)、(株)ハピラインふくい (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(オブザーバ)国土交通省鉄道局、北陸信越運輸局、中部運輸局(共同事務局)

2. 令和6年度の取組状況









連携の成果

- 車両予備品の相互融通により、異常時の部品交換がスムーズとなり、長時間の運休を回避
- 軌道関連予備品の効率化による、コスト削減(購入費用が<u>約50%削減)</u>
- 相互除雪により、<u>今和6年度はIRいしかわ鉄道との路線境界付近の雪の影響による運転休止がゼロ</u>

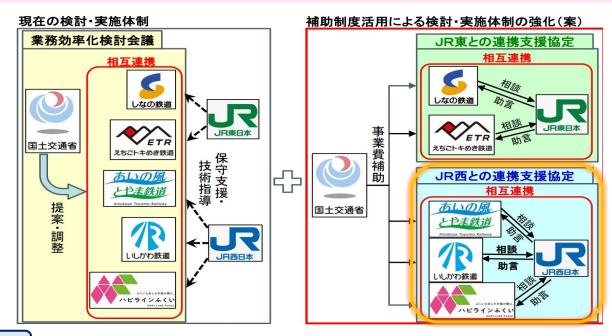
2. 保守業務連携支援協定 [連携先:JR西日本、IRいしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道]



3.令和7年度の取組状況

- 業務効率化検討会議(第3回:R7.4)において、国よりJRとの協定締結による取組強化方策の提案 ➡ブロック別WGを令和7年6月より実施
 - JRとの協定締結により保守業務等の連携を強化し、業務効率化等の取組を推進

【WGメンバー】 あいの風とやま鉄道(株)、IRいしかわ鉄道(株)、(株)ハピラインふくい JR西日本、国土交通省(鉄道局、北陸信越運輸局、中部運輸局)



連携への期待

- 保守効率化、体制強化に資する人的支援・教育的支援および新たな技術・検査機器等の 導入に伴う情報開示・助言については、JR西日本の協力体制が不可欠
 - ➡国には、その調整役をお願いするとともに、地方鉄道のメンテナンス体制強化に向けた 継続的な支援を期待

福井県鉄道協会の取組 [連携先:福井鉄道、えちぜん鉄道]



1.設置目的

福井県内の鉄道事業者が連携することにより、本県の鉄道ネットワークを維持、 高度化するとともに、各社の経営基盤の強化を図り持続可能性を高める



ゑえちぜん鉄道



≪役 員≫

長:ハピラインふくい代表取締役社長 えちぜん鉄道代表取締役社長

事:福井鉄道代表取締役社長

事務局:ハピラインふくい



【R6.6 3社による協定締結】

【R6.6.5 福井新聞】

2.事業内容

- (1)本県の鉄道ネットワークの維持、高度化策の立案に関すること
- (2)旅客の利便性向上、利用促進等による利用者の拡大に関すること
- (3)資機材の共同調達や共同利用等による維持管理の効率化に関すること
- (4)採用強化や定着の推進等による人材の確保に関すること
- (5)その他、本会の目的を達成するために必要な事業



福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい 3社で事業連携を展開!

【福井県鉄道協会 今後の展望イメージ】

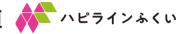
福井県鉄道協会の取組 [連携先:福井鉄道、えちぜん鉄道]



3.実施事業

- (1) 人材確保事業
 - ① 就職相談会等開催事業
 - ▶3 社合同就職相談会の開催【R6.8.3、R7.8.2】
 - ▶ふくいの鉄道・バス合同企業説明会の開催【R7.3.9】
 - ▶職場見学ツアー開催【R7.8.23】
 - ② 広報PR事業
 - ▶各社のPR動画作成【R7.1.16公開】
 - ▶鉄道協会HP作成【R7.1.22開設】
 - ③ 求人情報掲載事業
 - ▶就職情報WEBサイトへの掲載
- (2) その他事業
 - ① 利用促進のための広報・イベントの共同実施
 - ② 資機材等の共同調達
 - ③ 鉄道技術講習会の開催【R6.10.10、R7.11.20】

福井鉄道 冬えちぜん鉄道 ペピラインふくい









【鉄道技術講習会】







【人材確保のためのPR動画】

連携の 成果

- 3社合同就職相談会の参加者のうち、3名が入社(新採用1名、中途採用2名)
- 材料費が高騰傾向の中、3社で共同調達を実施した結果、調達価格が2%縮減

今後の 課題

- 福井県鉄道協会は、福井県の財政支援を受けながら、3社からの負担金により運営・実施
- →①共同化を更に推進していくための協会の組織運営に対する国の財政支援
 - ②国の補助制度の創設・拡充による資材等の共同調達・設備投資等の工事一括発注等への インセンティブ付与